

India Weekly

2020年7月13日



(対象期間：2020/7/6～2020/7/10)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2020年7月10日)



【株式市場】

週初、インド株式市場は2日連続で上昇しましたが、8日は4-6月期の決算発表が始まるのを前に様子見姿勢が強まり反落しました。9日はモディ首相が世界の産業界のリーダーなどを集めたバーチャルイベントで、景気回復の兆しがあると発言したことが好感されて買いが優勢となりました。10日はアジア株式市場が軟調となったことや新型コロナウイルスの感染者数の増加に歯止めがかからないことが嫌気されて下落しましたが、週間では上昇となりました。

2020/7/3	2020/7/10	変化率
36,021.42	36,594.33	+1.59%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年7月10日)

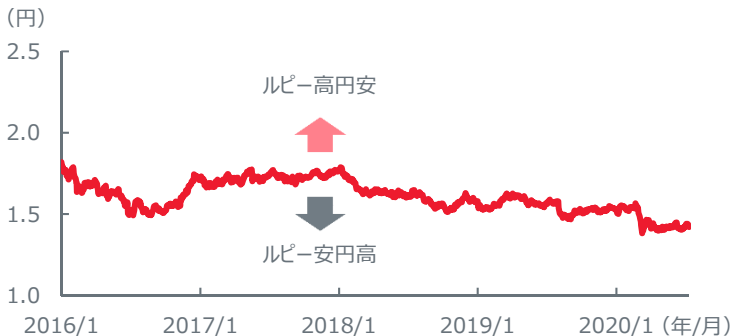


【債券市場】

潤沢な流動性を背景に国債に投資する動きが見られたほか、インド準備銀行（中央銀行、RBI）による国債買入オペへの期待などが支援材料となり、インド10年国債利回りは週を通じて低下（価格は上昇）しました。

2020/7/3	2020/7/10	変化幅
5.846	5.758	-0.088

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年7月10日)



【為替市場】

インドの輸入関連企業による米ドル買いの動きが出たほか、前週のルピー高の後にRBIによるルピー売り介入が行われたと見られる中、ルピーは対米ドルで下落しました。一方、円が対米ドルで上昇したことから、対円でもルピー-安となりました。

2020/7/3	2020/7/10	変化率
1.440	1.420	-1.40%

* オペレーションツイスト：長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行い、長短金利を逆方向に動かす公開市場操作
出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。